

運用報告書 (全体版)

第2期<決算日2018年10月12日>

たわらノーロード NYダウ

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式 (インデックス型)	
信託期間	2017年3月21日から無期限です。	
運用方針	ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース、為替ヘッジなし) の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	たわらノーロード NYダウ	NYダウ・インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	NYダウ・インデックス・マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場する株式を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。マザーファンドにおいては、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース、為替ヘッジなし) への連動性を高めるため、上場投資信託証券に投資を行う場合があります。また、有価証券先物取引等を活用する場合があります。	
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。株式への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日 (原則として10月12日。休業日の場合は翌営業日。) に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益 (マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額 (以下「みなし配当等収益」といいます。)) を含みます。) および売買益 (評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額) 等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「たわらノーロード NYダウ」は、2018年10月12日に第2期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ 工業株価平均 (円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	株式組入 比率	株式先物 比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率					
(設定日) 2017年3月21日	円	円	%	ポイント (3月22日) 2,309,030.62	%	%	%	百万円
1期 (2017年10月12日)	11,236	0	12.4	2,572,056.02	11.4	90.9	9.4	582
2期 (2018年10月12日)	12,466	0	10.9	2,810,677.45	9.3	92.8	8.3	1,253

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注4) ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース、為替ヘッジなし) です。なお、算出にあたっては基準価額への反映を考慮した日の米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています (以下同じ)。

(注5) ダウ・ジョーンズ工業株価平均は、S&P Globalの一部門であるS & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS & P®は、S&P Globalの一部門であるスタンダード・プアーズ・ファイナンシャル・サービシズLLC (「S & P」) の登録商標で、Dow Jones®は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLC (「Dow Jones」) の登録商標です。本商品は、SPDJ、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません (以下同じ)。

(注6) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基準価額		ダウ・ジョーンズ 工業株価平均 (円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		株式組入 率	株式先物 率	投資信託 受益証券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率			
(期首) 2017年10月12日	円	%	ポイント	%	%	%	%
10月12日	11,236	—	2,572,056.02	—	90.9	—	9.4
10月末	11,543	2.7	2,642,143.28	2.7	99.0	—	3.2
11月末	11,749	4.6	2,682,553.22	4.3	97.7	—	2.7
12月末	12,302	9.5	2,806,638.51	9.1	94.0	—	5.6
2018年1月末	12,437	10.7	2,836,904.69	10.3	95.0	—	5.2
2月末	11,987	6.7	2,728,275.29	6.1	98.0	—	4.0
3月末	11,267	0.3	2,560,714.17	△0.4	92.9	—	7.2
4月末	11,705	4.2	2,659,647.90	3.4	94.8	—	5.3
5月末	11,835	5.3	2,681,387.99	4.3	97.1	—	3.0
6月末	11,822	5.2	2,676,841.80	4.1	96.9	—	3.2
7月末	12,414	10.5	2,809,311.57	9.2	96.1	—	4.6
8月末	12,788	13.8	2,886,107.58	12.2	92.8	—	6.4
9月末	13,313	18.5	3,002,782.92	16.7	95.2	—	5.6
(期末) 2018年10月12日	12,466	10.9	2,810,677.45	9.3	92.8	—	8.3

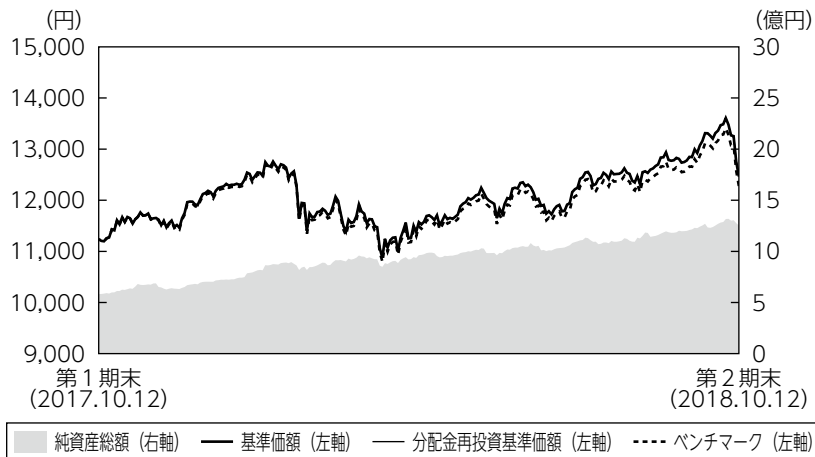
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2017年10月13日から2018年10月12日まで）

基準価額等の推移



第2期首：11,236円
第2期末：12,466円
(既払分配金0円)
騰落率：10.9%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

当期は2018年2月に米国株式が急落したことに加え、3月にかけて米ドル安が進んだことから、基準価額は下落しました。その後の米国株式は上昇基調が続いたうえ、米ドル安も修正されたことから、基準価額は前期末に比べて上昇しました。

投資環境

米国株式市場はトランプ政権への期待などから2018年1月にかけて上昇し、2月には急落したものの、その後は米中貿易摩擦が警戒されながらも、米国景気に対する自信の高まりや、良好な企業決算などを背景に堅調な展開となりました。加えて、減税効果への期待感や米国・メキシコが自由貿易協定の再交渉に合意したことなども相場を支える要因となりました。期末にかけては米国長期金利の上昇が嫌気され、前期末からの上昇幅を縮小しました。

為替市場は、米財務長官による米ドル安を容認する発言や、米国の通商政策を巡る不透明感などから2018年3月にかけて米ドル安の展開となりました。その後は原油高に伴うインフレ期待の高まりや、米国金利の上昇を受けて米ドル安の修正が進み、F R B（米連邦準備理事会）が金融政策の正常化を緩やかに進めるとの見方がドル高を支えました。期末にかけては円の買戻しが優勢となり、前期末に比べてわずかに円高となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

NYダウ・インデックス・マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持するよう運用しました。

●NYダウ・インデックス・マザーファンド

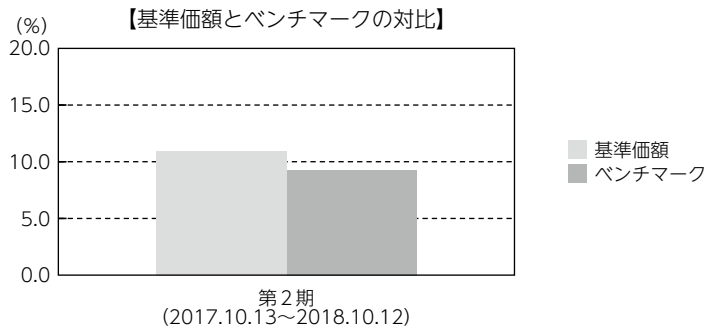
ベンチマークであるダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

※運用状況については12ページをご参照ください。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で9.3%上昇しました。

当ファンドはベンチマーク比で+1.7%となりました。ファンドとベンチマークの差の要因としては、当ファンドに組入れているマザーファンドには保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないことなどがあげられます。



(注) 基準価額の騰落率は配当金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2017年10月13日 ～2018年10月12日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,466円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、NYダウ・インデックス・マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

●NYダウ・インデックス・マザーファンド

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第 2 期		項目の概要
	(2017年10月13日 ～2018年10月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	29円	0.243%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,093円です。
(投信会社)	(13)	(0.108)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(13)	(0.108)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託銀行)	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.053	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(2)	(0.015)	
(投資信託受益証券)	(5)	(0.038)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	18	0.146	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(17)	(0.141)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	54	0.443	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2017年10月13日から2018年10月12日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
N Y ダウ ・ インデックス ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	863,502	1,052,801	379,613	460,768

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	NYダウ・インデックス・マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	696,621千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	893,300千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	0.77

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等 (2017年10月13日から2018年10月12日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
百万円 300	百万円 -	百万円 240	百万円 60	当初設定時又は当初運用時における取得の処分

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期首 (前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
NYダウ・インデックス・マザーファンド	千□ 517,443	千□ 1,001,332	千円 1,253,267

■投資信託財産の構成

2018年10月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
NYダウ・インデックス・マザーファンド	1,253,267	98.2
コール・ローン等、その他	23,422	1.8
投資信託財産総額	1,276,689	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2018年10月12日現在、NYダウ・インデックス・マザーファンドは1,251,870千円、98.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年10月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.19円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年10月12日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,276,689,777円
コール・ローン等	23,422,005
NYダウ・インデックス・マザーファンド(評価額)	1,253,267,772
(B) 負 債	23,378,730
未払解約金	22,030,406
未払信託報酬	1,327,281
その他未払費用	21,043
(C) 純資産総額(A-B)	1,253,311,047
元 本	1,005,378,033
次期繰越損益金	247,933,014
(D) 受益権総口数	1,005,378,033口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,466円

(注) 期首における元本額は518,252,114円、当期中における追加設定元本額は1,209,237,458円、同解約元本額は722,111,539円です。

■損益の状況

当期 自2017年10月13日 至2018年10月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△2,853円
受 取 利 息	1,199
支 払 利 息	△4,052
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	40,288,947
買 入 損 益	76,518,704
売 出 損 益	△36,229,757
(C) 信 託 報 酬 等	△2,307,377
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	37,978,717
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	21,509,857
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	188,444,440
(配 当 等 相 当 額)	(85,336,854)
(売 買 損 益 相 当 額)	(103,107,586)
(G) 合 計(D+E+F)	247,933,014
次 期 繰 越 損 益 金(G)	247,933,014
追 加 信 託 差 損 益 金	188,444,440
(配 当 等 相 当 額)	(87,667,042)
(売 買 損 益 相 当 額)	(100,777,398)
分 配 準 備 積 立 金	59,488,574

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	17,564,175円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	20,414,542
(c) 収 益 調 整 金	188,444,440
(d) 分 配 準 備 積 立 金	21,509,857
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	247,933,014
(f) 1万口当たり当期分配対象額	2,466.07
(g) 分 配 金	0
(h) 1万口当たり分配金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。

NYダウ・インデックス・マザーファンド

運用報告書

第2期（決算日 2018年10月12日）

（計算期間 2017年10月13日～2018年10月12日）

NYダウ・インデックス・マザーファンドの第2期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2017年3月21日から無期限です。
運用方針	ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要投資対象	米国の金融商品取引所に上場する株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均		株式組入率	株式先物率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	期中騰落率	期中騰落率	(円換算ベース、為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	期中騰落率				
(設定日) 2017年3月21日	円	%	ポイント (3月22日)	%	%	%	%	百万円
1期(2017年10月12日)	10,000	—	2,309,030.62	—	—	—	—	299
2期(2018年10月12日)	11,253	12.5	2,572,056.02	11.4	90.9	—	9.4	582
	12,516	11.2	2,810,677.45	9.3	92.8	—	8.3	1,253

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注3) ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）です。なお、算出にあたっては基準価額への反映を考慮した日の米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています（以下同じ）。

(注4) ダウ・ジョーンズ工業株価平均は、S&P Globalの一部門であるS & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS & P®は、S&P Globalの一部門であるスタンダード・プアーズ・ファイナンシャル・サービスLLC（「S & P」）の登録商標で、Dow Jones®は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLC（「Dow Jones」）の登録商標です。本商品は、SPDJ、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません（以下同じ）。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

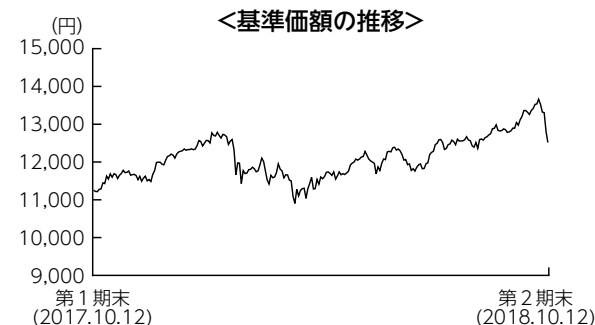
■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ 工 業 株 価 平 均		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率		(円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	騰 落 率			
(期 首) 2017年10月12日	円 11,253	% -	ポイント 2,572,056.02	% -	% 90.9	% -	% 9.4
10 月 末	11,562	2.7	2,642,143.28	2.7	99.0	-	3.2
11 月 末	11,771	4.6	2,682,553.22	4.3	97.8	-	2.7
12 月 末	12,327	9.5	2,806,638.51	9.1	94.0	-	5.6
2018年1 月 末	12,465	10.8	2,836,904.69	10.3	95.0	-	5.2
2 月 末	12,017	6.8	2,728,275.29	6.1	98.0	-	4.0
3 月 末	11,297	0.4	2,560,714.17	△0.4	92.9	-	7.2
4 月 末	11,739	4.3	2,659,647.90	3.4	94.8	-	5.3
5 月 末	11,872	5.5	2,681,387.99	4.3	97.1	-	3.0
6 月 末	11,861	5.4	2,676,841.80	4.1	96.9	-	3.2
7 月 末	12,458	10.7	2,809,311.57	9.2	96.1	-	4.6
8 月 末	12,836	14.1	2,886,107.58	12.2	92.8	-	6.4
9 月 末	13,365	18.8	3,002,782.92	16.7	95.2	-	5.6
(期 末) 2018年10月12日	12,516	11.2	2,810,677.45	9.3	92.8	-	8.3

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2017年10月13日から2018年10月12日まで）

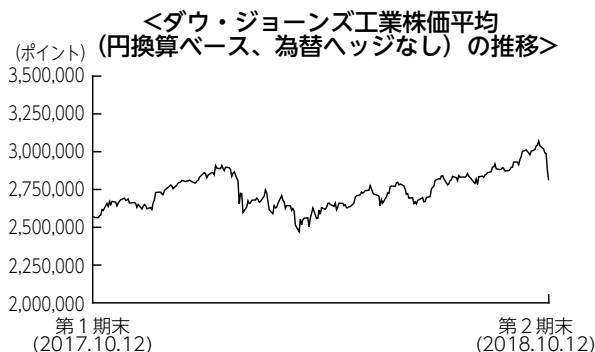


基準価額の推移

当期末の基準価額は12,516円となり、前期末比で11.2%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

当期は2018年2月に米国株式が急落したことに加え、3月にかけて米ドル安が進んだことから、基準価額は下落しました。その後の米国株式は上昇基調が続いたうえ、米ドル安も修正されたことから、基準価額は前期末に比べて上昇しました。



投資環境

米国株式市場はトランプ政権への期待などから2018年1月にかけて上昇し、2月には急落したものの、その後は米中貿易摩擦が警戒されながらも、米国景気に対する自信の高まりや、良好な企業決算などを背景に堅調な展開となりました。加えて、減税効果への期待感や米国・メキシコが自由貿易協定の再交渉に合意したことなども相場を支える要因となりました。期末にかけては米国長期金利の上昇が嫌気され、前期末からの上昇幅を縮小しました。

為替市場は、米財務長官による米ドル安を容認する発言や、米国の通商政策を巡る不透明感などから

2018年3月にかけて米ドル安の展開となりました。その後は原油高に伴うインフレ期待の高まりや、米国金利の上昇を受けて米ドル安の修正が進み、FRB（米連邦準備理事会）が金融政策の正常化を緩やかに進めるとの見方がドル高を支えました。期末にかけては円の買戻しが優勢となり、前期末に比べてわずかに円高となりました。

ポートフォリオについて

ベンチマークであるダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

【運用状況】

○組入上位10業種

期首（前期末）

No.	業種	組入比率
1	資本財	20.5%
2	その他	9.4
3	各種金融	9.1
4	ソフトウェア・サービス	9.1
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.5
6	エネルギー	5.5
7	ヘルスケア機器・サービス	5.3
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.2
9	小売	4.5
10	消費者サービス	4.5

期末

No.	業種	組入比率
1	資本財	20.7%
2	ソフトウェア・サービス	9.5
3	その他	8.3
4	各種金融	7.9
5	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.5
6	ヘルスケア機器・サービス	6.5
7	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.2
8	エネルギー	5.0
9	小売	4.8
10	食品・生活必需品小売り	4.1



(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種はG I C S（世界産業分類基準）によるものです。

(注3) その他にはE T F等が含まれます。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で9.3%上昇しました。

当ファンドはベンチマーク比で+1.9%となりました。ファンドとベンチマークの差の要因としては、ファンドには保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないことなどがあげられます。

今後の運用方針

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投資信託受益証券)	6円 (2) (5)	0.053% (0.015) (0.038)
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投資信託受益証券)	0 (0) (0)	0.002 (0.000) (0.002)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	17 (17) (0)	0.142 (0.141) (0.001)
合 計	24	0.197

(注) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(12,127円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については6ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

■ 売買及び取引の状況 (2017年10月13日から2018年10月12日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	ア メ リ カ	百株 484.94 (-)	千アメリカ・ドル 5,776 (-)	百株 68.24	千アメリカ・ドル 541

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
アメリカ	SPDR DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE ETF TRUST	千口 33.17 (-)	千アメリカ・ドル 8,276 (-)	千口 31.583 (-)	千アメリカ・ドル 7,892 (-)

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	696,621千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	893,300千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)÷(b)	0.77

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2017年10月13日から2018年10月12日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 外国株式

銘柄	株数	当 期		末 額		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
INTL BUSINESS MACHINES CORP	14.17	28.06	390	43,764		情報技術サービス
AMERICAN EXPRESS CO	14.17	28.06	285	31,977		消費者金融
APPLE INC	14.17	28.06	601	67,509		コンピュータ・周辺機器
VERIZON COMM INC	14.17	28.06	149	16,788		各種電気通信サービス
BOEING CO	14.17	28.06	1,004	112,734		航空宇宙・防衛
CATERPILLAR INC	14.17	28.06	395	44,378		機械
JPMORGAN CHASE & CO	14.17	28.06	303	34,039		銀行
CISCO SYSTEMS INC	14.17	28.06	123	13,889		通信機器
COCA-COLA CO/THE	14.17	28.06	125	14,052		飲料
THE WALT DISNEY CO	14.17	28.06	311	34,990		娯楽
EXXON MOBIL CORP	14.17	28.06	228	25,688		石油・ガス・消耗燃料
GENERAL ELECTRIC CO	14.17	-	-	-		コンプロマリット
GOLDMAN SACHS GROUP INC	14.17	28.06	597	67,044		資本市場
HOME DEPOT INC	14.17	28.06	532	59,731		専門小売り
INTEL CORP	14.17	28.06	124	13,923		半導体・半導体製造装置
JOHNSON & JOHNSON	14.17	28.06	375	42,133		医薬品
MCDONALD'S CORPORATION	14.17	28.06	457	51,303		ホテル・レストラン・レジャー
MERCK & CO.INC.	14.17	28.06	191	21,523		医薬品
MICROSOFT CORP	14.17	28.06	297	33,341		ソフトウェア
3M CO	14.17	28.06	552	61,931		コンプロマリット
NIKE INC-CL B	14.17	28.06	209	23,456		繊維・アパレル・贅沢品
PFIZER INC	14.17	28.06	120	13,476		医薬品
PROCTER & GAMBLE CO	14.17	28.06	221	24,828		家庭用品
THE TRAVELERS COMPANIES INC	14.17	28.06	348	39,133		保険
CHEVRON CORP	14.17	28.06	332	37,282		石油・ガス・消耗燃料
UNITED TECHNOLOGIES CORP	14.17	28.06	363	40,726		航空宇宙・防衛
UNITEDHEALTH GROUP INC	14.17	28.06	721	80,942		ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	-	28.06	198	22,319		食品・生活必需品小売り
WALMART INC	14.17	28.06	263	29,566		食品・生活必需品小売り
VISA INC	14.17	28.06	375	42,098		情報技術サービス
DOWDUPONT INC	14.17	28.06	165	18,567		化学
合 計	株 数	425.1	841.8	10,367	1,163,145	
	銘 柄 数<比 率>	30銘柄	30銘柄	-	<92.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

(2) 外国投資信託受益証券

銘柄	株数	当 期		末 額	
		□ 数	□ 数	外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	
SPDR DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE ETF TRUST	2.123	3.71	928	104,168	
合 計	□ 数	2.123	3.71	928	104,168
	銘 柄 数<比 率>	1銘柄<9.4%>	1銘柄<8.3%>	-	-

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する投資信託受益証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

■投資信託財産の構成

2018年10月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 1,163,145	% 91.0
投 資 信 託 受 益 証 券	104,168	8.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	10,191	0.8
投 資 信 託 財 産 総 額	1,277,504	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、1,251,870千円、98.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年10月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.19円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年10月12日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,294,889,616円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	9,516,660
株 式(評価額)	1,163,145,179
投 資 信 託 受 益 証 券(評価額)	104,168,606
未 収 入 金	17,384,800
未 収 配 当 金	674,371
(B) 負 債	41,585,326
未 払 金	41,585,326
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,253,304,290
元 本	1,001,332,512
次 期 繰 越 損 益 金	251,971,778
(D) 受 益 権 総 口 数	1,001,332,512口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,516円

(注1) 期首元本額 517,443,172円
追加設定元本額 863,502,756円
一部解約元本額 379,613,416円

(注2) 期末における元本の内訳
たわらノーロード NYダウ 1,001,332,512円
期末元本合計 1,001,332,512円

■損益の状況

当期 自2017年10月13日 至2018年10月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	18,893,560円
受 取 配 当 金	18,887,249
受 取 利 息	8,396
支 払 利 息	△2,085
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	61,426,788
売 買 損 益	108,887,940
売 買 損 益	△47,461,152
(C) そ の 他 費 用	△1,319,793
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	79,000,555
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	64,827,563
(F) 解 約 差 損 益 金	△81,154,584
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	189,298,244
(H) 合 計(D+E+F+G)	251,971,778
次 期 繰 越 損 益 金(H)	251,971,778

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。